



エネルギーや原料の高騰、国内市場の縮小など日本の製造業は厳しい環境に置かれています。地球環境問題への対応も迫られていますが、着実に省エネを進めてきた日本の産業界にとって、一層の温暖化ガス排出削減は容易なことではありません。資源の有効利用や環境負荷の低減でこれまで大きな役割を果たしてきた触媒には、苦境を打開して"Game Change"を起こす革新的技術を生み出すことが強く期待されています。触媒学会では、産業構造を変えるような革新的な技術創出の"触媒"となることを願って、春の討論会において特別企画を実施します。注目度の高いテーマを選定し、各分野で活躍されている産学官の第一人者の方々に講演をお願いしました。皆様の積極的なご参加をお願いします。

第115回触媒討論会 特別シンポジウム

主催：触媒学会／協賛：日本化学会

日時：平成27年3月24日(火)9:30～17:00／会場：成蹊大学触媒討論会会場

● プログラム (仮題を含む) ●

テーマ1【水素社会への架け橋】

- 9:30~10:05 基調講演「始まった水素社会と再生可能エネルギー水素利用への展望」
(放送大学) 秋鹿研一
- 10:05~10:30 水素エネルギーキャリアの技術開発
(経済産業省) 堀田照久
- 10:30~11:05 水素キャリアを指向したCO₂/ギ酸の相互変換触媒の開発
(産業技術総合研究所) 姫田雄一郎
- 11:10~11:45 NH₃燃料電池研究の現状と展望
(京都大学) 江口浩一
- 11:45~12:20 燃料電池車用水素ステーションを想定した有機ハイドライドによる水素供給
(JX日鉱日石エネルギー(株)) 吉 岐英

テーマ2【化学原料事情のclimate change】

- 14:30~15:05 基調講演「化学原料事情のclimate change」
(株)三菱化学科学技術研究センター) 瀬戸山 亨
- 15:05~15:40 Shale-Gas革命の実態
(株)三菱総合研究所) Daniel K. Walter
- 15:50~16:25 化石資源を利用したCO₂低排出の触媒プロセス
(富山大学) 椿 範立
- 16:25~17:00 木質バイオマスからの化成品製造の意義と製紙／化学連携NEDOプロジェクト概要
(京都大学) 前 一廣

参加費：第115回触媒討論会参加登録費に含まれます。ウェブサイトをご覧ください。

www.shokubai.org/meeting/

参加申込方法：事前申込の必要はありません。当日、第115回触媒討論会総合受付にお越しください。

問合先：触媒学会 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館3階

電話：03-3291-8224 / E-Mail: catsj@pb3.so-net.ne.jp

